

## 2020年度第2回日本留学試験(EJU、11月8日実施予定)中止の場合の特別措置について

2020年11月2日  
静岡大学アジアブリッジプログラム

2021年度アジアブリッジプログラム入試について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年度第2回EJUが中止された場合の選抜方法を、すでに公開済みの募集要項から下記のとおり変更します。

※2020年度第2回EJUが実施された場合には、ここに示す特別措置は一切適用せず、公開済みの募集要項に従って選抜を行います。

### 1. 募集要項の変更

募集要項(日本語版) 5ページから7ページに示す「選抜方法・配点」をすべて無効とし、以降に示す各学部の選抜方法に従って選考を行います。このため、すべての受験者についてEJU成績通知書/受験票の提出は不要となります。(2019年度第1回、2019年度第2回の成績通知書を持っている人も提出をしません)

### 2. 各学部の選抜方法

#### 1) 人文社会科学部 (社会学科、言語文化学科、法学科、経済学科)

第一次選抜は、①英語資格試験②高校の成績③日本語のエッセイをもって総合的に判断する。  
※人文社会科学部に出席をする者は、日本語エッセイ(志望理由書)の文字数制限を1,000字程度に変更します。  
第二次選抜は、第一次合格者に対して面接試験を実施し、その結果に基づき合否を判定する。

#### 2) 教育学部 (学校教育教員養成課程)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。  
第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して口頭試問を実施する。

#### 3) 情報学部 (情報科学科、行動情報学科)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。  
第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して口頭試問を実施する。  
数学についてはその場で問題を解いてもらいます。  
面接時の受け答えを通して日本語能力を評価します。

#### 3) 情報学部 (情報社会学科)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。  
第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して口頭試問を実施する。  
EJU総合科目の出題範囲の中からの問題をその場で解いてもらいます。  
面接時の受け答えを通して日本語能力を評価します。

#### 4) 理学部 (数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。

第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して、英語資格試験及び面接試験の成績により合格者を決定する。

面接試験での使用言語は日本語及び英語です。

面接試験では口頭試問により日本語能力、英語能力および学力(各専門分野の学力)を判定します。

下に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。

①学力 (200 点)

各学科の専門分野 (面接試験) (200 点)

②コミュニケーション力 (計 200 点)

英語資格試験 (100 点)

日本語能力、英語能力 (面接試験) (100 点)

(英語資格試験は、それぞれの試験の満点を100点に換算して利用します)

#### 5) 工学部 (機械工学科、電気電子工学科、電子物質科学科、化学バイオ工学科、数理システム工学科)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。

第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して数学、理科、日本語を含む面接試験および提出された書類によって判断する。

#### 6) 農学部 (生物資源科学科、応用生命科学科)

第一次選抜は、提出された出願書類に基づいて総合的に判断する。

第二次選抜は、第一次選抜合格者に対して口頭試問を実施する。

数学についてはその場で問題を解いてもらいます。

化学および生物は口答とします。

面接時の受け答えを通して日本語能力を評価します。